



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西川浩司  
 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,348	—	104	—	106	—	69	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 85百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	12.74	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成28年3月期より連結財務諸表作成会社となっております。よって、平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,178	3,463	66.9
27年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,463百万円 27年3月期 一百万円

(注) 平成28年3月期より連結財務諸表作成会社となっております。よって、平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	6,400	—	450	—	460	—	300	—	55.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成28年3月期より連結財務諸表作成会社となっております。よって、平成28年3月期の連結業績予想につきましては、新たに公表するものであります。なお、第2四半期累計期間における連結業績予想につきましては、連結子会社の本格的な事業開始に向けての段階であり、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、公表は差し控えさせていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) NIC Autotec (Thailand) Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	5,500,000 株	27年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	51,241 株	27年3月期	51,196 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	5,448,777 株	27年3月期1Q	5,448,830 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の是正を背景として輸出が改善し、業績好調な製造業を中心に、設備投資が増加基調となりました。また、輸入製品は円安による価格上昇の影響を受けるものの、消費税率引上げによる低迷も一巡し、原油安等による個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかに回復基調が続きました。一方、米国経済は堅調に推移したものの、ギリシャの財政状態の悪化や新興国の経済成長の鈍化等、先行き不透明な状況は残りました。

このような状況のもと当社は、前事業年度より継続的に受注しているF A装置（F A：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）等に使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の大口案件を計画通りに納入し、また、海外工場の生産強化を図る自動車業界向けのF A装置やフラットパネルディスプレイ（以下、「F P D」という。）業界向けの大型カスタムクリーンブース等についても順調に売上を伸ばしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,348百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は104百万円、経常利益は106百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。つきましては、ご参考として個別業績について当第1四半期累計期間と前年同期とを比較いたしますと、売上高1,353百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益108百万円（前年同期比129.8%増）、経常利益109百万円（前年同期比123.8%増）、四半期純利益72百万円（前年同期比141.6%）の増収増益となっております。

また、本年1月に設立いたしました海外子会社（NIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.）につきましては、未だ本格稼働に至っておりませんが、工場機械設備の設置や在庫品の整備、また現地社員に対する研修等を実施し、着実に本格稼働の準備を進めております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム合金製構造物の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

一般の材料・部品は、前事業年度後半の好調を維持し、売上高は増加傾向となりました。また継続的な受注があるF A装置等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件についても、順調な需要に支えられ、売上高は増加となりました。なお、これらは通期におきましても受注、売上ともに順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は632百万円となりました。

#### [装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社の技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進し、当第1四半期連結累計期間には、複数の自動車部品製造企業に対する洗浄装置、検査装置、試験装置等の売上を計上いたしました。また、F P D業界向けクリーンブース案件も当初予想を上回る引き合いがあり、第2四半期以降も順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は453百万円となりました。

#### [商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係は低調な滑り出しとなりました。機械設備関係に関しても、機械部品製造関連企業の設備投資が前年をピークとして峠を越えたため、引き合い件数が減少し、売上高は伸び悩む状況となりました。

この結果、当部門の売上高は263百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、5,178百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が376百万円、受取手形及び売掛金が1,554百万円、電子記録債権が398百万円、たな卸資産が679百万円、有形固定資産が1,413百万円、投資その他の資産が682百万円であります。

負債は1,714百万円となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金が803百万円、電子記録債務が419百万円、退職給付に係る負債が165百万円であります。

純資産は3,463百万円となりました。主な内訳は利益剰余金3,061百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は376百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、238百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、税金等調整前四半期純利益106百万円の計上、売上債権の減少による資金の増加額487百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少額87百万円、仕入債務の減少による資金の減少額120百万円、法人税等の支払いによる資金の減少額87百万円などの資金の減少があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、27百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が19百万円、保険積立金の積立による支出が5百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、102百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出が102百万円あったことなどが主な要因であります。

なお、当第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月、タイ王国で海外子会社を設立したことに伴い、平成28年3月期より連結財務諸表作成会社となっております。つきましては、平成28年3月期第1四半期より、連結業績を開示することとなったため、平成28年3月期の連結業績予想を新たに開示しております。

当期の連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	6,400百万円	450百万円	460百万円	300百万円	55円05銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—

平成28年3月期の業績予想につきましては、連結子会社の本格的な事業開始の段階であり、また、同子会社の短期的な環境の変化が見込まれ、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、第2四半期累計期間における連結業績予想につきましては差し控させていただきます。

通期の連結予想につきましては、平成27年5月11日付けの「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表いたしました個別の業績予想に関しまして、順調に推移して行くことが見込まれておりますので、現時点におきましては、個別の通期業績予想値を連結の通期業績予想値として、据え置いた形で公表させていただきます。

なお、今後の経営環境の変化や連結子会社の業績等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間から、NIC Autotec(Thailand) Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成27年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	376,044
受取手形及び売掛金	1,554,878
電子記録債権	398,835
商品及び製品	174,444
仕掛品	210,032
原材料及び貯蔵品	295,355
その他	50,714
貸倒引当金	△201
流動資産合計	3,060,104
固定資産	
有形固定資産	
建物	1,777,471
減価償却累計額	△1,014,893
建物(純額)	762,577
土地	456,904
その他	701,316
減価償却累計額	△506,886
その他(純額)	194,430
有形固定資産合計	1,413,912
無形固定資産	
その他	21,740
無形固定資産合計	21,740
投資その他の資産	
その他	684,042
貸倒引当金	△1,781
投資その他の資産合計	682,260
固定資産合計	2,117,913
資産合計	5,178,018

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成27年6月30日)

<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	803,147
電子記録債務	419,537
未払法人税等	43,567
賞与引当金	78,095
製品保証引当金	2,914
その他	141,597
流動負債合計	1,488,859
固定負債	
退職給付に係る負債	165,297
その他	60,171
固定負債合計	225,469
負債合計	1,714,329
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	156,100
資本剰余金	146,100
利益剰余金	3,061,724
自己株式	△34,467
株主資本合計	3,329,456
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	135,002
為替換算調整勘定	△1,099
その他の包括利益累計額合計	133,903
非支配株主持分	328
純資産合計	3,463,689
負債純資産合計	5,178,018



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,348,990
売上原価	1,013,356
売上総利益	335,633
販売費及び一般管理費	230,837
営業利益	104,796
営業外収益	
仕入割引	916
その他	614
営業外収益合計	1,530
営業外費用	
手形売却損	57
電子記録債権売却損	81
その他	3
営業外費用合計	141
経常利益	106,184
税金等調整前四半期純利益	106,184
法人税、住民税及び事業税	41,458
法人税等調整額	△4,686
法人税等合計	36,771
四半期純利益	69,413
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,438

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	
四半期純利益	69,413
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	17,355
為替換算調整勘定	△1,126
その他の包括利益合計	16,229
四半期包括利益	85,642
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	85,678
非支配株主に係る四半期包括利益	△36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	106,184
減価償却費	24,416
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,696
製品保証引当金の増減額(△は減少)	98
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△267
受取利息及び受取配当金	△196
売上債権の増減額(△は増加)	487,506
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,693
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,956
未収消費税等の増減額(△は増加)	△76,748
その他	△30,368
小計	325,632
利息及び配当金の受取額	124
法人税等の支払額	△87,444
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>238,312</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△19,250
無形固定資産の取得による支出	△1,935
投資有価証券の取得による支出	△1,200
保険積立金の積立による支出	△5,754
その他	762
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△27,377</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△28
配当金の支払額	△102,874
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△102,902</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△1,076</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,955
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>262,243</b>
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,845
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>376,044</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	637,678	—
装置部門	453,469	—
合計	1,091,147	—

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ② 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
商事部門	工業用砥石	37,620	—
	機械設備	94,261	—
	工具・ツール・油脂類	91,278	—
合計		223,160	—

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	687,011	—	195,262	—
装置部門	178,784	—	463,105	—
商事部門	173,057	—	109,719	—
合計	1,038,853	—	768,088	—

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ④ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	632,232	—
装置部門	453,469	—
商事部門	263,288	—
合計	1,348,990	—

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第1四半期連結累計期間		
	販売高(千円)	割合(%)	前年同四半期比(%)
キャノン株式会社	293,463	21.8	—
株式会社トミタ	176,132	13.1	—
株式会社不二越	162,197	12.0	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当社は当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比を記載しておりません